【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長局長
【提出日】	平成29年２月６日
【会社名】	株式会社オウチーノ
【英訳名】	0-uccino,Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　井端　純一
【本店の所在の場所】	東京都港区東新橋二丁目14番１号
【電話番号】	０３－５４０２－６８８７（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員CFO　村田　吉隆
【最寄りの連絡場所】	東京都港区東新橋二丁目14番１号
【電話番号】	０３－５４０２－６８８７（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員CFO　村田　吉隆
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号並びに第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1)当該事象の発生年月日

平成29年2月6日(取締役会決議日)

(2)当該事象の内容

①連結決算

当社の連結子会社である株式会社スペースマゼラン（以下、スペースマゼラン社）におきまして、平成28年10月18日提出の臨時報告書にて報告しましたStandard Property Group Co,Ltdに対する債権161,902千円について、平成28年11月14日提出の臨時報告書にて報告しました当該債権の為替差損および債権の一部に対する貸倒引当金繰入額の計上額を洗い替えするとともに、当該債権の全額に対する為替差損および貸倒引当金繰入額を計上することといたしました。

（ⅰ）為替差損

未収入金3,404,943,100MNT※（平成28年12月12日にモンゴル裁判所で実施された当社とＳ社の和解契約に対する調停の結果、1,300,000 USDに年利18%の利息を付加した金額を平成28年８月31日の為替レートで換算し、3,404,943,100MNTとして債権額を確定する見込みであります。）を平成28年12月期の期末時点の為替相場（1USD=116.49円=2,487MNT）で評価替えし、当該債権の帳簿価額に対する為替差損（営業外費用）を計上しました。

※MNTはモンゴル国の通貨単位、トゥグルク（MNTは国際通貨コード）。

（ⅱ）貸倒引当金繰入額

当該債権の帳簿価額から上記による為替差損を控除し、控除後の価額全額を貸倒引当金繰入額（特別損失）として計上しました。

②個別決算

当社は、上記の連結子会社における為替差損及び貸倒引当繰入額の計上等に伴い、関係会社株式評価損および同社への短期貸付金に対する関係会社貸倒引当金繰入額を特別損失として計上することといたしました。

(3)当該事象の損益並びに連結損益に与える影響額

①連結決算

当該事象の発生により、平成28年12月期の連結決算において、営業外費用として為替差損2,415千円、特別損失として貸倒引当金繰入額159,486千円を計上することといたしました。

②個別決算

当該事象の発生により、平成28年12月期の個別決算において、特別損失として関係会社株式評価損99,999千円および同社への短期貸付金に対する関係会社貸倒引当金繰入額68,957千円を計上することといたしました。

なお、関係会社株式評価損および関係会社貸倒引当金繰入額については、連結財務諸表上は連結手続きにおいて相殺消去されるため、連結損益に与える影響はありません。